

新	旧
【別添 <u>1</u>】 無痛分娩取扱施設のための、 「無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」に基づく自主点検表 <u>令和7年5月版</u> (略) A 診療体制 (略) 1 (略) 2 無痛分娩に関する人員体制 (1) 無痛分娩麻酔管理者を配置している。 (要件) ☐ (略) ☐ 麻酔科専門医資格、麻酔科標榜資格又は産婦人科専門医資格を有している。 ☒ 安全な産科麻酔実施のための最新の知識を修得し、技術の向上を図るための講習会（<u>無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）が提供するカテゴリーA講習会等</u>）を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） <u>産婦人科専門医の場合には、</u> ☐ <u>自らの麻酔科研修歴及び麻酔実施歴、無痛分娩診療歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※）</u> ☐ 産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会（<u>JALA が認定するカテゴリーB講習会あるいはそれに相当する講習会等</u>）を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） ☐ <u>JALA が認定するカテゴリーC講習会に相当する</u>救急蘇生コースの受講歴があり、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） (2) 麻酔担当医を配置している。 (要件) ☐ 麻酔科専門医資格、麻酔科標榜資格又は産婦人科専門医資格を有してい	【別添 <u>2</u>】 無痛分娩取扱施設のための、 「無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」に基づく自主点検表 <u>平成30年4月版</u> (略) A 診療体制 (略) 1 (略) 2 無痛分娩に関する人員体制 (1) 無痛分娩麻酔管理者を配置している。 (要件) ☐ (略) ☐ 麻酔科専門医資格、麻酔科標榜<u>医</u>資格又は産婦人科専門医資格を有している。 <u>産婦人科専門医の場合には、安全な産科麻酔実施のための最新の知識を修得し、技術の向上を図るための講習会を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。自らの麻酔科研修歴及び麻酔実施歴、無痛分娩診療歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※）</u> ☐ 産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） ☐ 救急蘇生コースの受講歴があり、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） (2) 麻酔担当医を配置している。 (要件) ☐ 麻酔科専門医資格、麻酔科標榜<u>医</u>資格又は産婦人科専門医資格を有して

新	旧
る。 産婦人科専門医の場合には、 ☐ 原則として麻酔科専門医の指導下に麻酔科を研修した実績があり、自らの麻酔科研修歴及び麻酔実施歴、無痛分娩診療歴について経験症例数等の情報を公開し、安全で確実な硬膜外麻酔及び気管挿管実施の能力を有することを示している。 ☐ 安全な麻酔実施のための最新の知識を修得し、技術の向上をはかるための講習会（JALA が提供するカテゴリーA 講習会等）を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） <u>麻酔科専門医資格・認定医資格をもたない麻酔科標榜医又は産婦人科専門医の場合には、</u> ☐ <u>産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会（JALA が認定するカテゴリーB 講習会あるいはそれに相当する講習会等）を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※）</u> ☐ <u>JALA が認定するカテゴリーC 講習会に相当する救急蘇生コースの受講歴があり、かつその受講証明が有効期限内であり、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※）</u> ☐ 安全で確実な気管挿管の能力を有している。 (3) 無痛分娩研修修了助産師・看護師がいる場合には、活用している。 （要件） ☐ （略） ☐ <u>JALA が認定するカテゴリーC 講習会に相当する救急蘇生コースの受講歴を有している。（※）</u> ☐ 安全な麻酔実施のための最新の知識を修得し、ケアの向上を図るため、関係学会又は関係団体が主催する講習会（JALA が提供するカテゴリーD 講習会等）を2年に1回程度受講している。（※） <u>※ 講習会の具体的な内容とその受講要件については、JALA がそのウェブサイトを通じて提供する情報を確認すること</u> <u>（https://www.jalasite.org/doc/koshukaiarticlelist）。講習会受講に関する情報公開は、各施設のウェブサイト等を介して行うとともに、JALA がそのウェブサイトを通じて提供する「情報公開に積極的に取り組んでいる無痛</u>	いる。 産婦人科専門医の場合には、原則として <u>日本麻酔科学会</u> 麻酔専門医である指導医の指導下に麻酔科を研修した実績があり、自らの麻酔科研修歴及び麻酔実施歴、無痛分娩診療歴について経験症例数等の情報を公開し、安全で確実な硬膜外麻酔及び気管挿管実施の能力を有することを示している。<u>さらに、</u>安全な麻酔実施のための最新の知識を修得し、技術の向上をはかるための講習会を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※） ☐ 安全で確実な気管挿管の能力を有している。 ☐ <u>産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※）</u> ☐ <u>産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会を2年に1回程度受講し、その受講歴についてウェブサイト等で情報を公開している。（※）</u> (3) 無痛分娩研修修了助産師・看護師がいる場合には、活用している。 （要件） ☐ （略） ☐ 救急蘇生コースの受講歴を有している。（※） ☐ 安全な麻酔実施のための最新の知識を修得し、ケアの向上を図るため、関係学会又は関係団体が主催する講習会を2年に1回程度受講している。（※）

新	旧
<u>分娩取扱施設のリスト」における自施設情報の一部としても掲載することが望ましい。</u> 3 無痛分娩に関する安全管理対策 (略) ☐ (略) ①～③ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ 施設内で勤務者が参加する危機対応シミュレーションを少なくとも年1回程度実施し、実施歴についてウェブサイト等において情報を公開している。 4 (略) B 情報公開 1 情報公開 無痛分娩の診療体制に関する<u>以下の情報を自施設のウェブサイト及び JALA サイト等を通じて公開し、原則として年1回以上の頻度で最新の情報に更新を行っている。また、無痛分娩に関する情報を厚生労働省の運用するウェブサイト「出産なび」で公開している。</u> <u>(自施設のウェブサイトおよび JALA サイト等)</u> ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) <u>(出産なび)</u>	3 無痛分娩に関する安全管理対策 (略) ☐ (略) ①～③ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ 施設内で勤務者が参加する危機対応シミュレーションを少なくとも年1回程度実施し、実施歴についてウェブサイト等において情報を公開している。 <u>(※)</u> <u>※ 講習会の具体的な内容と各施設のウェブサイト等における情報公開の方法については、「無痛分娩に関するワーキンググループ（仮称）」においてその詳細が検討されるため、現時点では、各施設において可能な取組を実施することで差し控えない。</u> 4 (略) B 情報公開 1 情報公開 無痛分娩の診療体制に関する<u>情報をウェブサイト等で公開している。(※)</u> ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略) ☐ (略)

新	旧
☐ <u>出産なびに無痛分娩に関する情報を公開している</u> C (略) 1 (略) ☐ (略)	C (略) 1 (略) ☐ (略)